

○団体ヒアリング実施報告

岸和田市身体障害者福祉会	: 7/ 6 14:00～
岸和田市視覚障害者協会	: 7/10 9:00～
岸和田市聴覚障害者福祉会	: 7/14 19:00～
岸和田市肢体不自由児者父母の会	: 7/ 8 10:00～
岸和田市手をつなぐ育成会	: 7/ 6 10:00～
岸和田障害児者を守る会	: 7/14 10:00～
岸和田障害者児関係団体・連絡協議会	: 7/ 8 14:00～
岸和田市精神障害者家族会(はづき会)	: 7/ 3 10:00～
難病患者の会(ひまわり会)	: 7/ 7 14:00～

○給付金・見舞金支給事業廃止に関して

- ・反対の立場である
- ・定期的な見直しは必要であり、やむを得ないところもある？
- ・低所得者層だけでも残してほしい(仕事ができない、収入が少ない、所得補償)
- ・少額でもいいので現金でほしい
- ・収入の少ない人にはたとえ5,000円でも大きい、月1,000円の重みは家庭によって違う
- ・仕方ないと思うところもあるが、ずっともらってきたのがなくなるのは寂しい
- ・いままで頑張って勝ち取ってきたものをここでなくすのもつらい
- ・アンケートでは「とても役立っている」「反対」という意見が多かったのでは、いかに重要かがはっきりしたのでは
- ・消費税も上がり生活が苦しくなるこの時期になぜ廃止か？
- ・子育て世帯見舞金など施策として逆行してはいないか？
- ・今までの現金支給を他の人のサービスにまわしたいと言われれば何も言えないが、いきなりでなく段階的にできないか
- ・いままで減額してきたが、その際に対象者が見合ったサービスが受けられているかを検証しているのか
- ・法的に障害者に精神や難病の方が入ったので給付金を止めるということか
- ・結局、廃止ということしか決まってないのか
- ・市から給付金をもらっていることを本人は誇りに感じている
- ・市から給付金をもらうことで「頑張って生きてくださいよ」と言われているようで嬉しい
- ・給付金の廃止とは関係なく、施策は拡充していかなければならないのでは
- ・年末の年越しのわずかな楽しみだった
- ・岸和田市で受けられないサービスを受けるために遠くへ行く。その際の交通費に利用
- ・自分たちの始末もしないで、予算がないから給付金を廃止するのはおかしい

○代替施策について

- ・7500 万円で本当にできるのか？
- ・給付金等の予算がすべて代替施策にあてられるのか
- ・7,500 万円が担保できないなかでは納得いかない
- ・給付金の対象者全てが受けることのできる事業か
- ・現在、支給を受けている人がサービスを受けられない場合は、現金で支給してもらえるのか
- ・見舞金に見合うサービスがうけられるのか
- ・代替施策ははたして有効か、現金が一番有効
- ・サービスを利用していなければ、まるまるゼロになるだけ
- ・現物給付が、本当に必要な人に回ればいいが…
- ・広く障害者が恩恵を受けられるようなものを探して予算要求して行ってほしい
- ・廃止ありきで代替施策と見せかけておいて、「なし」にするのでは
- ・何も当てはまらない、メリットがない
- ・サービスを利用するように自ら持っていくしかない
- ・医療費に係る負担が切実である（特に歯科診療、生活習慣病など）
- ・絵に描いた餅にならないよう、充分吟味してほしい
- ・転換施策に条件が付きすぎている（絵に描いた餅）
- ・法的には三障害が平等であるべき
- ・給付金は3級4級まで対象なので代替施策も4級までの人のメリットを考えるべき
- ・本当に困っているところが飛ばされている
- ・サービスは親の能力、状態によって享受できていない現実がある
- ・聴覚障害者への代替施策がない

☆タクシー助成について

- ・重度に限定せず拡大してほしい
- ・重度の方は入院しているなど、使えない状況の場合が多い
- ・精神は車の運転も制限されている場合もある
- ・中度でも移動は大変
- ・マイカーの人もいるのでガソリン代を補助してほしい
- ・高齢になると車に乗れない
- ・高齢である聴覚障害者にも広げてほしい
- ・協議会でも出たが、手帳の区分でなく支援区分による検討をしてほしい
- ・社協などがやっている「移送ボランティア」をもっと広めたら移動支援が充実するのでは
- ・全額補助してほしい、ワンメーターで行けるところに必要なサービスがない

☆歯科診療について

- ・訪問診療も必要である（高齢化による）
- ・給付金の予算額7,500万円ではできないのでは
- ・岸和田に重度歯科診療ができるのは嬉しい（ただし給付金廃止とは別の話）
- ・岸和田市の単独事業でないなら給付金を充てるのはおかしい
- ・医療の充実が代替施策に載ってきていることが嬉しい
- ・歯科受診のため大阪市内まで連れて行かなければならない。健常者と違いそこまで行くための交通費がかさむ。前々から話はあるが進んでいない。
- ・市単独でなく泉州圏域として考えるべき

☆移動支援

- ・3歳以上の要件を取っ払ってほしい。必要なところに使えない
- ・施設入所していると使えない（帰宅や通院、親の高齢化）
- ・ずっと対市懇談会で言ってきていることが入っていない
- ・重度の子供は就労支援ではなく介護が必要、まずそこから
- ・障害児並のサービスを障害者のサービスも充実してほしい
- ・障害者の移動支援を障害児のそれと同様にするなど充実してほしい
- ・ローズバスの本数の増や停留所増などで利用しやすくしてほしい
- ・同行援護の時間拡大
- ・医療的ケアが必要な子で支援学校に通うのにスクールバスに乗れない。教育を受けるために親が送迎。他市でもあるように市が車で輸送するサービスを実施してほしい

☆グループホームについて

- ・精神は対象になっておらず、待機が多い（専用の整備を望む）
- ・家賃補助は積極的にお願いしたい

☆相談支援について

- ・メリットがわからない
- ・相談支援に行ける人は余裕のある方、本当に困っている人は行かない
- ・巡回相談をして現状を見てもらい足りないものを支援してほしい。

☆住宅改造について

- ・4級まで拡大してほしい

☆その他

- ・団体の助成額を増額できないか
- ・生活補助具の範囲拡大